

平成 22 年度第 5 回岐阜県事業評価監視委員会

【河川課所管 再評価審議資料】

○河川総合開発事業（水無瀬生活貯水池）

- ・再評価実施箇所一覧表
- ・再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
- ・再評価実施箇所（附図）
- ・説明資料（パワーポイント）

平成22年度 再評価実施箇所一覧表

番号	担当課名	果 事 業		市町村 事業	事業主体	事業採 択年度	完了予 定年度	全体事業費 百万円	再評価の実施区分		事 業 名	路線名(地区名)	施 工 場 所
		補助	果 事 業						再評価	再々評価			
8	河川課	○			岐阜県	H13	H28	6,000		○	河川総合開発事業	永瀬生活排水池*	川辺町



平成22年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 河川課

○事業制度について	事業名	河川総合開発事業（水無瀬生活貯水池）	
	事業目的	水無瀬生活貯水池によって、洪水調節を行うことで、水無瀬川沿川地域を洪水から守り、安全性を向上させる。また、緊急水補給のための利水容量を貯水池に確保することで、可茂地区（2市4町）において、異常濁水等の被害から守る。	
	採択基準	一級河川の指定区間又は二級河川で河道改修によることが困難であり、洪水調節と併せてかんがい、発電、上水道、工業用水等を必要とするもの。	
	概要 （メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> ・本体工事 ・管理設備工事 ・仮設備工事 ・工事用道路工事 	
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≪B≫	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋資産 ・家庭用品資産 ・事業所資産（償却・在庫資産） ・農漁家資産（償却・在庫資産） ・農作物資産（水田・畑） ・公共土木施設等
		その他項目	
	費用 ≪C≫ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費と維持管理費の合計 ・評価対象期間は整備期間+50年とする ・現在価値化に用いる割引率は4%（B及びC共通） ・維持管理項目は、毎年の維持管理費を現在価値化して積算 ・毎年の維持管理費は県内の管理ダム実績管理費用より算出 	
	費用便益比の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対便益費が1以上 	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年9月、国土交通大臣より知事に対し、本事業を含むダム事業について、検証に係る検討を要請されている。 		

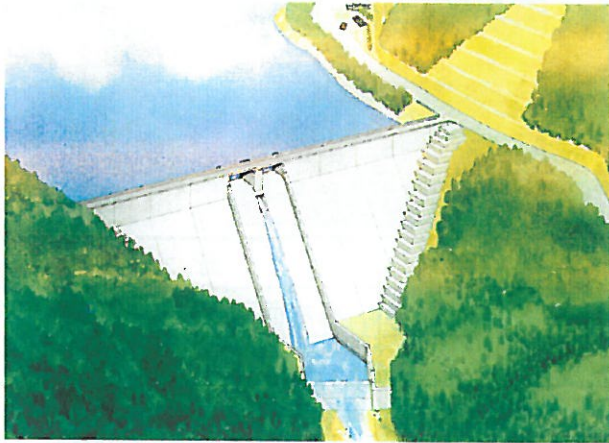
平成22年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔河川課〕

番 号	事業名 河川総合開発事業（水無瀬生活貯水池） (路線・河川名等)		
事業実施箇所	岐阜県加茂郡川辺町上川辺	事業主体	岐阜県
採択年度	平成13年度	完了予定年度	平成28年度
再評価の実施基準	再評価実施後一定期間が経過している事業		
事業目的	<p>洪水調節：ダム地点の計画高水流量$30\text{m}^3/\text{s}$のうち、$20\text{m}^3/\text{s}$の洪水調節を行うことで、水無瀬川沿川地域の被害軽減を図る。</p> <p>緊急水補給：利水容量$700,000\text{m}^3$を確保し、緊急時に補給することで、可茂地区（2市4町）を異常渇水等の被害から守る。</p>		
事業概要	<p>ダム形式：重力式コンクリートダム</p> <p>ダム高：43.5m、堤頂長：140.0m、堤体積：53.5千m^3</p> <p>貯水容量：1,080千m^3、有効貯水容量：1,000千m^3、湛水面積：0.10km^2</p> <p>総事業費：約60億円</p>		
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>●位置図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>●完成イメージ</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>●計画概要図</p>  </div>		

みなせ せい かつ ちよ すい ち

水無瀬生活貯水池 事業再評価



岐阜県
河川課

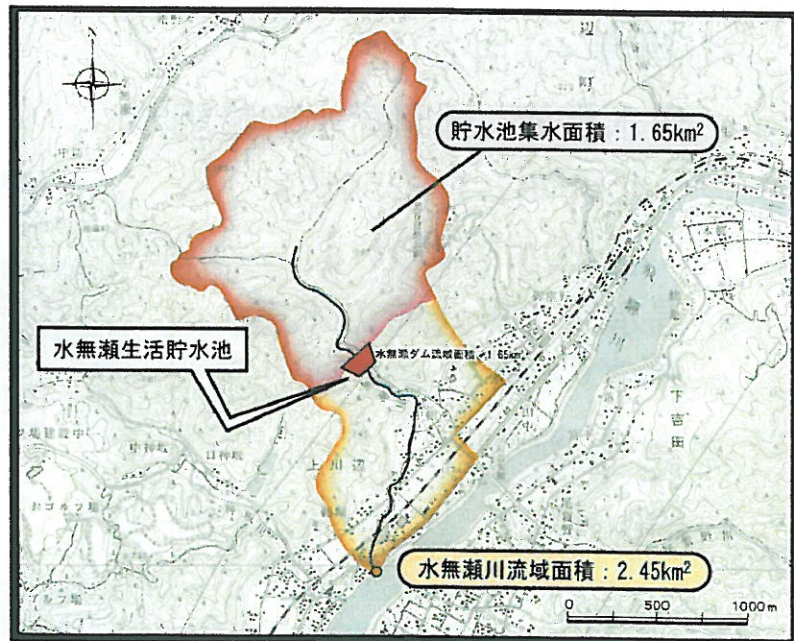


1. 事業の概要

流域の概要

水無瀬川流域

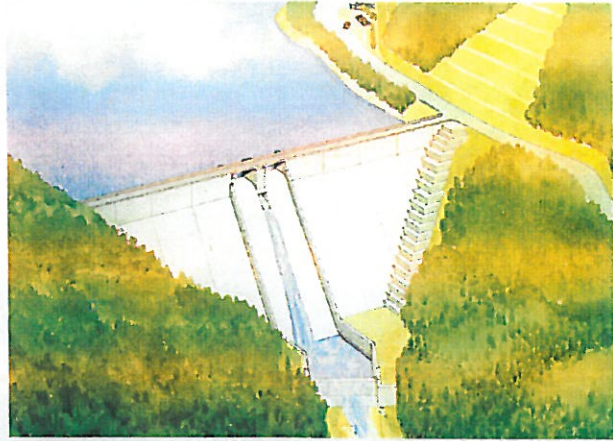
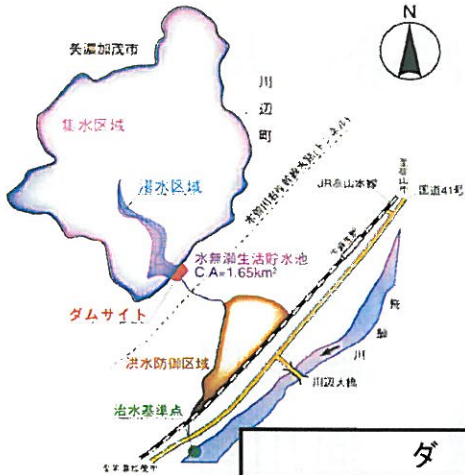
流域面積: 2.45km²



1. 事業の概要

水無瀬生活貯水池の概要

■水無瀬生活貯水池計画概要図



ダム		貯水池	
型式	重力式コンクリートダム	集水面積	1.65km ²
堤高	43.5m	湛水面積	0.10km ²
堤頂長	140.0m	総貯水容量	1,080,000m ³
堤体積	53,500m ³		

1. 事業の概要

事業の目的と事業費

<事業の目的>

- 洪水調節・計画高水流量調節

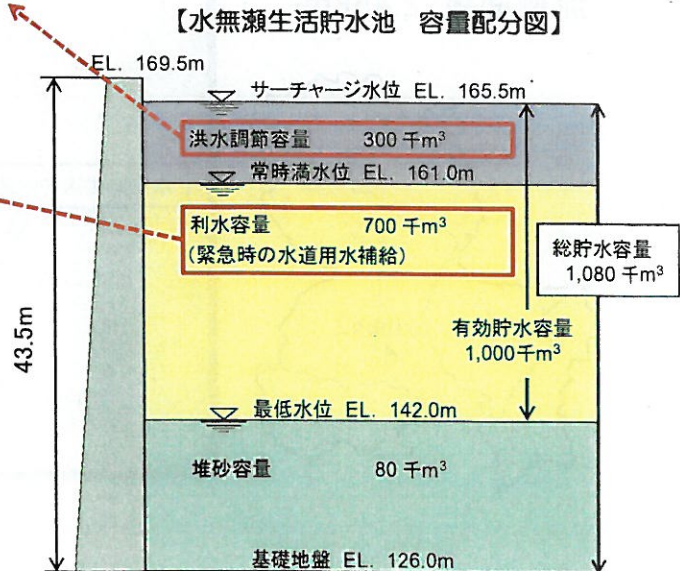
45m³/s ⇒ 25m³/s

【20m³/sカット】

- 渇水時等緊急時の水道用水の補給

<総事業費>

- 約60億円





1. 事業の概要

過去の被災状況

昭和43年、平成11年に洪水被害が発生。

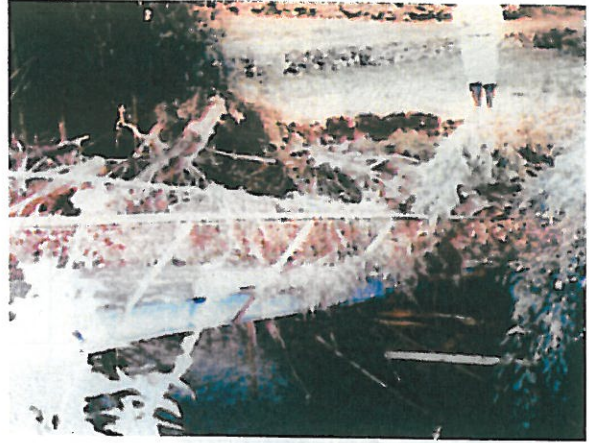
昭和43年8月



(主な被害)

- ・床上浸水 32戸
- ・床下浸水 110戸

平成11年9月



(主な被害)

- ・床下浸水 4戸

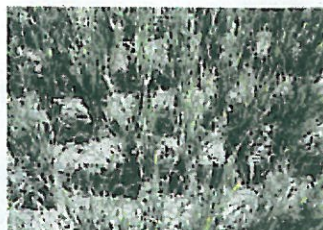
1. 事業の概要

過去の渇水状況

<平成6年度異常渇水時における岐阜県内の被害状況>



枯渇した岩屋ダム(水資源機構提供)



水不足により下葉が枯れた稲



干ばつ害によりシワになった柿

岐阜県内被害額等

- ・断水 : 約 600戸
- ・出水不良 : 約2,700戸
- ・農作物、家畜等の被害 : 約 28億円
- ・長良川が浅瀬になり、鵜飼の大型観覧船の運航が停止

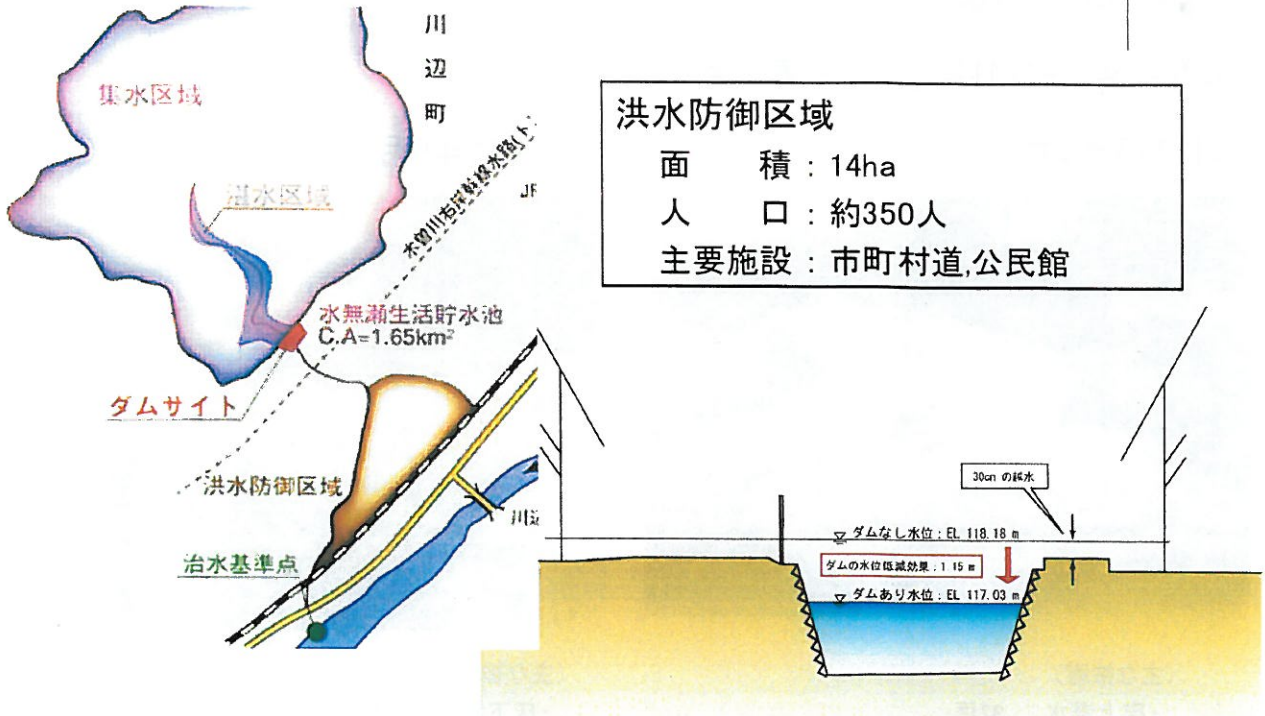
市民生活における影響の例

- ・ポンプ車の出動
- ・学校のプール使用停止
- ・学校給食にて、汁物取りやめ、お茶代わりに牛乳などの「節水メニュー」
- ・児童公園の水道とトイレの使用禁止
- ・病院への仮設送水管の設置
- ・スーパーなどでミネラルウォーターやポリタンクの品切れ続出 など



2. 事業の効果

洪水調節効果



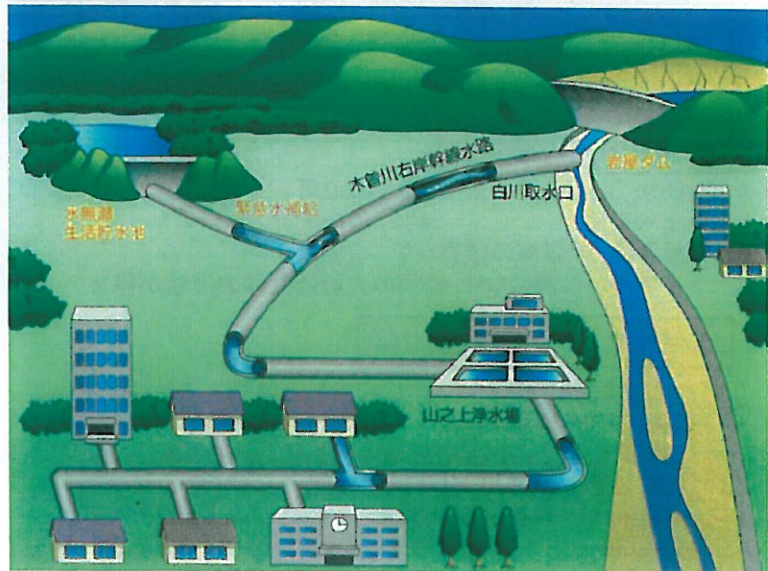
2. 事業の効果

緊急時の水道用水補給

「緊急時の水道用水補給」容量として、水無瀬生活貯水池に
70万m³を確保

異常渇水により、可茂地区で100%断水となった状態においても、
約8日間にわたって供給が可能

異常渇水





3. 費用対効果

$$B/C = 1.20$$

B: 便益(効果)

事業の実施により想定される洪水軽減効果を
現在価値化

C: 費用

ダム事業に要する費用を現在価値化
建設費 + 維持管理費 - 残存価値



4. 事業の進捗状況

- 平成13年4月: 建設採択
- 平成13年度～平成20年度: 地質調査, 環境調査
本体概略設計等
- 平成21～22年度: 河川流量調査(県単独事業費)
21年度末進捗率 6.3%
- 平成28年度 事業完了(予定)



5. 本事業を取り巻く状況

ダム検証に係る検討

<国からの要請>

平成22年9月 国土交通省

- 「今後の治水対策のあり方について中間とりまとめ」を公表
- 「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき
 - ・各地方整備局、水資源機構へ検証に係る検討を指示。
 - ・都道府県知事に検証に係る検討を要請。

(県内対象事業)

岐阜県:内ヶ谷ダム、大島ダム、水無瀬生活貯水池

国直轄事業:新丸山ダム

水資源機構事業:木曾川水系連絡導水路

5. 本事業を取り巻く状況

ダム検証と再評価

<ダム検証に係る検討>

「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」(H22.9.28)

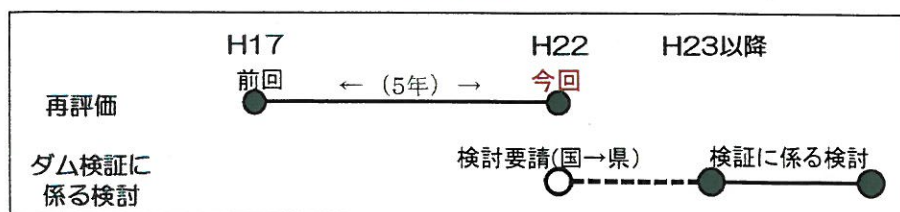
- 本細目に基づく、ダム検証に係る検討を行う際には、従前の「河川及びダム事業の再評価実施要領細目」(H22.4.1)は適用しない。

ただし、

- 「ダム検証に係る検討」が終了するまでの間に、「再評価実施要領」に規定する事業に該当する場合は、従前の細目に基づき再評価を行う。

水無瀬生活貯水池は

- ・前回(平成17年度)から5年が経過
- ・「ダム検証に係る検討」が未完了



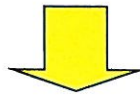
6. 対応方針(案)



水無瀬生活貯水池・ダム事業の状況

- 「ダム検証」については、平成16年10月の浸水被害及び事業の進捗状況を考慮し、内ヶ谷ダムを優先して検証の検討を行う。
- 水無瀬生活貯水池については、財政状況等を踏まえ、適切な時期に検証を行うこととする。

検証にあたっては、事業評価監視委員会の意見を聴き、対応方針を決定する。



対応方針(案)

今後、国の新たな基本方針(評価軸)に基づいて検証を行う予定である。事業内容に変更はないことから現在の調査段階を継続する。